

## はじめに

人と自然の博物館では、いわゆる新展開に合わせて、博物館の将来構想を描き出すためのネクストミュージアム・プロジェクトチーム（兼・総合共同研究「博物館の新展開」グループ）を35歳未満の館員を中心に組織しました。ここでは、博物館のすべての面にわたって、今後に向け革新し、展開すべきことを、中長期的視野に基づいた視点で考察しております。

新展開の策定にあたって、博物館の活動に今期待されることが検討され、可能な限りにおいて具体的に実施に移されているところですが、博物館に期待される問題はなお広範におよぶことを実感しております。ネクストミュージアム・プロジェクトチームでは、内部での勉強会、内外の講師のレクチャーを受けての討議、他の博物館の視察による比較検討などを踏まえ、2003年度中に最初の中間とりまとめをいたしました。ここにその要綱を報告し、さらにより計画に仕上げるために、内外のご批判をいただくことにした次第です。

このような将来構想案は、基本的にはあるべき姿を模索し、それを実現させるための戦略を構築するというのが一番ふつうの在り方です。実際、日本の歴史と風土のうちに、今日的な問題対応の博物館のあるべき姿を描き出すとしますと、実現不可能な夢を描いてしまうことにもなりかねません。しかし、ネクストミュージアム・プロジェクトチームでは、一見夢のように見える構想を具体化するためには今何が必要かも真剣に模索しました。現に、新展開にともなって、できていること、できないことも検討の基礎といたしました。自分達自身の将来の在り方を模索するこの検討の在り方について、各方面から、建設的なご意見をいただくことができれば、将来の博物館をよりよいかたちに導く力になるものと期待いたします。

この中間報告をまとめるまでに、検討にご協力いただきました諸先輩に改めてお礼を申し上げますとともに、人類の叡智の発展に貢献すべき博物館の将来に希望をつなぐために、さらなるご協力とご鞭撻をお願いする次第です。

知的な動物である「人」は知的活動を推進することによって生き甲斐を構築します。生涯学習を支援する施設としての博物館は、人の知的活動に生涯のあらゆる時点で協力することのできる場所です。生涯を通じて学ぶことが、人の生き甲斐であり、人類の生を豊かにするものであることを、博物館の活動を通じて確かめていきたいと祈念いたします。

人と自然の博物館 館長 岩槻邦男